

2022年10月

DAY-PRO! 事業財産保険 改定のご案内

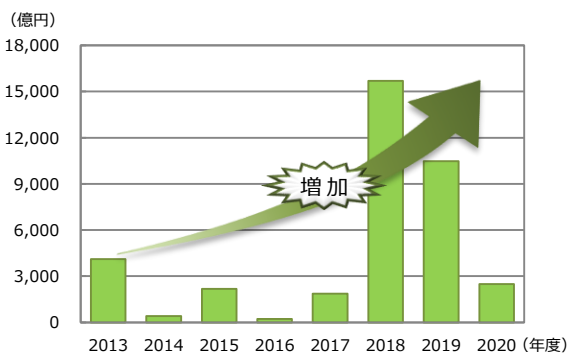
火災
保険

大同火災海上保険株式会社（以下「弊社」といいます。）では、2022年10月1日以降保険始期のご契約より、以下のとおり企業向けの火災保険「DAY-PRO! 事業財産保険」の改定を実施することといたしましたので、ご案内申し上げます。改定につきまして、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 保険料の改定

- 自然災害（風水災等）による保険金のお支払いが増加していること等を踏まえ、損害保険料率算出機構※1が算出する参考純率※2が改定されました。
- この参考純率の改定および弊社における保険金のお支払い状況等を踏まえ、保険料の改定を行います。さらに、保険の対象となる建物の築年数に応じて、これまで以上にきめ細かい保険料体系とします。
- ご契約条件によって保険料が引上げ・引下げとなるケースがありますが、自然災害リスクの増大により、沖縄県においては多くのケースで引上げとなります。
- 弊社といたしましては、お客さまの保険料のご負担を極力抑えるために、これまで諸経費の削減等に努めてきましたが、将来にわたり安定的に火災保険事業を継続し、県民の皆さまへあんしん・あんぜんを提供していくために、保険料の改定が必要な状況となっております。何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

主な風水災等による保険金支払額の推移（日本全国）



出典：一般社団法人日本損害保険協会の資料をもとに作成

事故事例

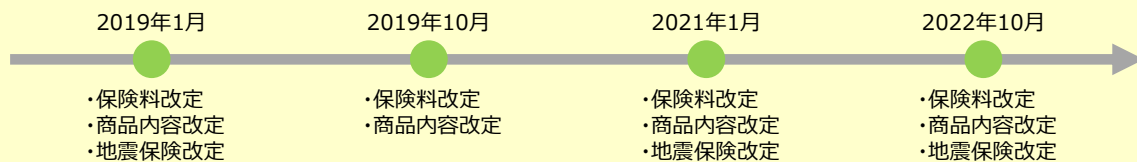
- 台風で屋根・外壁・窓ガラス等が壊れてしまった。
- 台風で室外機が壊れ、エアコンが故障してしまった。
- 台風で窓ガラスが割れ、建物の中が水浸しになってしまった。



※1 損害保険料率算出機構は、損害保険業の健全な発展を図るとともに、お客さまの利益を保護することを目的として、「損害保険料率算出団体に関する法律」に基づき設立された中立機関です。
※2 参考純率とは、保険料のうち保険金のお支払いに充当する部分の保険料率について、保険会社が保険料設定の参考にできる料率として、損害保険料率算出機構が算出したものです。

過去複数回の改定について

- DAY-PRO! 事業財産保険は自然災害リスクの増大等により、直近で複数回の改定を実施しています。
- 保険期間が長期のご契約では、更新後のご契約において複数回の改定の影響を受ける場合があります。



2. その他の改定

No.	項目	概要																									
1	工場物件の補償プラン拡大	<p>●工場物件は工場プランのみでのお引受でしたが、工場プランを廃止し、一般物件同様にプラン選択ができるよう改定します。※1・2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>工場プラン</th> <th>ワイド</th> <th>スタンダード</th> <th>スタンダード (水災対象外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火災・風災・水濡れ等リスク</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>盗難リスク</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水災リスク</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>破損等リスク</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 改定後の更新契約は、従来の工場プランに最も近い「スタンダード（水災対象外）」が初期設定されます。必要に応じて補償プランをご選択ください。</p> <p>※2 補償プランは上記以外にもございます。詳細につきましては、取扱代理店または弊社営業店までお問い合わせください。</p>		工場プラン	ワイド	スタンダード	スタンダード (水災対象外)	火災・風災・水濡れ等リスク	○	○	○	○	盗難リスク	×	○	○	○	水災リスク	×	○	○	×	破損等リスク	×	○	×	×
	工場プラン	ワイド	スタンダード	スタンダード (水災対象外)																							
火災・風災・水濡れ等リスク	○	○	○	○																							
盗難リスク	×	○	○	○																							
水災リスク	×	○	○	×																							
破損等リスク	×	○	×	×																							
2	建物の簡易評価基準の見直し	<p>●近年の物価水準等を勘案し、建物の保険金額を算出する際に使用している簡易評価基準※3の見直しを行います。</p> <p>●保険金額が低く、十分でない場合には、万が一の事故の際に建物の復旧に保険金が足りない可能性があります。改定後の簡易評価基準を踏まえ、保険金額の見直しについてご検討ください。</p> <p>※3 建物を簡便に評価するため、弊社が標準的な目安として用いているものです。</p>																									
3	支払限度額・免責金額の設定条件の見直し	<p>●従来は一定以上の規模のご契約のみ支払限度額・免責金額の設定が可能でしたが、この条件を撤廃し、小規模物件でもご契約条件が柔軟に設定できるよう見直しを行います。※4</p> <p>※4 支配限度額・免責金額を設定することで保険料を節減することが可能となります。ただし、ご契約条件によっては割引効果が出ない場合があります。</p>																									
4	Web約款への移行	<p>●更新契約は原則Web約款※5となります。紙資源の節約および地球環境保全にご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>※5 Web約款とは、「ご契約のしおり（約款）」を冊子ではなくインターネット上でご確認いただけるものです。紙約款をご希望の方は、弊社取扱代理店までお問い合わせください。</p>																									

ご契約条件の見直しによる保険料の節減について

- ◇ご契約条件を見直すことで保険料を節減することができます。
- ◇補償内容の縮小は万が一の事故の際のお客さまの自己負担額の増加に繋がるため、ご自身のリスクをよく吟味し、現在の補償内容との違いを十分にご確認いただいた上で、ご検討くださいますようお願いいたします。
- ◇免責金額の設定、補償を縮小する特約の付帯、補償プランの見直しなどによる保険料の節減が可能です。詳細につきましては、取扱代理店または弊社営業店までお問い合わせください。

※「DAY-PRO! 事業財産保険」は事業財産保険のペットネームです。

※このチラシは火災保険改定の概要を記載したものです。また、このチラシに記載した改定内容以外の改定もござります。詳細につきましては、取扱代理店または弊社営業店までお問い合わせください。

この島の損保。

大同火災海上保険株式会社

本店 〒900-8586 沖縄県那覇市久茂地1丁目12番1号
 〈ホームページアドレス〉 <https://www.daidokasai.co.jp/>

〈お問い合わせ・ご相談〉 ☎ 0120-331-648 (お客さま相談センター)
 受付：平日 午前9時～午後5時 (※土・日・祝日、12/31～1/3)

お問い合わせは